

11月9日(水)

2016年(平成28年)

発行所：大阪市北区梅田3丁目4番5号  
〒530-8251 電話(06)6345-1551  
毎日新聞大阪本社

## 「乳がんの人支えたい」

### 妻を亡くした男性講演

乳がんの早期

橋本

発見と治療を呼  
びかける市民公

開講座「いのち in

Ochi 大切な人の

「想い」とともに…」

が、橋本市高野口町の市産業文化会館であった。妻を乳がんで亡くした読売テレビアナウンサー、清水健さんが

講演し、約1200人が聴き入った。

清水さんの妻は、妊娠直後に乳がんが見つ

かり、長男出産後の昨年、29歳で死去した。

10月29日にあった講座で、清水さんは妻を守れなかったことへの後悔などを語り、「今は自分を助けてくれる人

たちがいる」と、がんを患う人たちを支える側で活動したいとの決意を述べた。

また、乳がん平癒の祈願寺として知られる慈尊院(九度山町)では、がん克服を願うキ

ャンドルがともされた。清水さんも参加して点灯すると、境内の

多宝塔が活動シンボルカラーのピンクにライトアップされた。

講座は、紀和病院・紀和ブレスト(乳腺)

センター(橋本市岸上)や伊都医師会などでつ

くる実行委員会が主催。梅村定司センター

長は、乳がん検診をテーマに講演し、「乳腺濃度の高い人は、超音波検査を受けることで、がん発見の確率が高くなる」などと話した。

【松野和生】



乳がん克服を願ってキャンドルに火をともし清水さん(左端)＝九度山町の慈尊院で